

HOPES012「孤発性線維性腫瘍に関する多施設共同研究」

1. 対象となる方

2000年1月1日以降2017年12月31日までに当施設にて孤発性線維性腫瘍(Solitary fibrous tumor: SFT)の治療を受けた患者さんが本研究の対象となります。

2. 研究目的・研究方法

孤発性線維性腫瘍(以下 SFT)は良悪性中間型に分類される稀な腫瘍であり、現在は頭頸部や四肢・体幹などあらゆる部位に発生することが知られています。疾患自体が非常にまれであることから、これまで整形外科的視点をもとに検討した報告はほとんど存在しない、というのが現状です。

本研究では、SFT の臨床経過および治療成績について当施設を含む東日本整形小児肉腫グループ5施設(HOPES)において診療情報を収集し解析を行います。研究結果は、関連学会での発表および学術雑誌投稿による論文公表を行います。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

年齢、性別、腫瘍発生部位・生検結果・手術内容・局所再発および転移の有無 等に関して診療情報を HOPES 各施設にて収集します。この時点で個人を特定しうる情報は排除します(=情報の匿名化を行います)。この匿名化した情報を当施設研究事務局で統合し解析します。

4. 研究が行われる機関および研究者名

<研究事務局・研究責任者>

千葉県がんセンター 整形外科 鴨田 博人

<研究協力施設および各施設責任者>

神奈川県立がんセンター骨軟部腫瘍外科	: 比留間 徹
慶應義塾大学整形外科	: 中山 タラントロバート
国立がん研究センター中央病院骨軟部腫瘍科・リハビリテーション科	: 川井 章
東京大学病院整形外科	: 小林 寛

5. 情報管理責任者

千葉県がんセンター 整形外科 鴨田 博人

6. 個人情報の保護について

利用する情報からは患者さんを直接特定できるような個人情報は削除します(匿名化)。研究成果は学会や学術雑誌等での発表を予定していますが、その際も患者さんを特定できるような個人情報は利用しません。

7. 研究の資金源および利益相反について

本研究に関して資金提供は受けておりません。

研究に関する利益相反については、当施設の利益相反委員会によって適切に管理されています。

8. この研究は倫理審査委員会の承認が得られています。

本研究は当施設の倫理審査委員会で審議され、研究の承認が得られています。

9. この研究への参加を希望しない時はご連絡ください。

あなたの情報を研究に用いられることを、あなたまたは代理人の方にご了承いただけない場合は研究対象としないので、下記の連絡先までお申し出ください。研究に参加しなかった場合でも、患者さんに不利益が生じることは全くありません。また、本研究に関するご質問がある場合も下記へお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報および知的財産の保護等に支障がない範囲内で研究計画書および研究の計画に関する資料を閲覧することができますのでお知らせください。

研究責任者 千葉県がんセンター 整形外科 主任医長 鴨田 博人

〒260-8717 千葉市中央区仁戸名町 666-2

病院代表 : 043-264-5431

以上